

令和3年度

京都市立醍醐中学校

学校だより

第2号

令和3年4月13日 文責 林



平成3年度 教職員一覧

		担任	副担任		
1 年	1 組	辰巳 昌宏	江口 奈緒	校長	林 善和
	2 組	大年 優佐	濱口 哲輝	教頭	西谷 浩一
	5 組	森田 盛太郎	江口 奈緒	国語担当	五十嵐 俊二
		宮城 香里		数学担当	吉田 功
2 年	1 組	福岡 孝一	東田 朗宏	美術担当	岡本 康雄
	2 組	西田 紗矢香	山口 朗	技術担当	船内 朋子
	5 組	森田 盛太郎	東田 朗宏	家庭担当	平塚 彩音
3 年	1 組	菅原 竣也	宮久保 祐子	養護教諭	天間 朝子
	2 組	福永 奈央美	廣瀬 いわほ	LD通級指導	福島 悟
	3 組	奥野 正大	宮久保 祐子	学校運営主任	松井 木綿子
	5 組	宮城 香里	村田 直樹	管理用務	高橋 ユミ
				スクールカウンセラー	浅田 恵美子
				学校司書	今西 友理子
				A L T	Komori Leo Eiichi
				総合育成支援員	河合 英夫
				総合育成支援員	平岡 和美
				校務支援員	辻 祥代
				校務支援員	寺田 久美

立ち止まってじっくり考える

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続き、収束の見通しが立ちません。4月12日（月）から京都府に「まん延防止等重点措置」が適用されました。「学びを止めない」ためにもマスクの着用や手洗いの励行、三密を避けるなど感染対策をしっかりと行ってください。

現在、学校では「GIGAスクール構想」が本格化しています。生徒一人に一台のタブレットが準備され、授業や自主学習に活用され始めました。「学びを止めない」ためのツールとしても活用しようと考えています。

「GIGAスクール構想」が本格化することで情報の取り扱いが大切になってきます。まず、情報を受け取る時に気をつけたいことを考えてみましょう。インターネットが発達し、欲しい情報を瞬時に手に入れることができます。以前ですと図書館で本で調べるなどが必要だったことを思えば便利になりました。しかし、手に入れた情報が正しい情報なのかを自分自身で判断しなければなりません。手に入れた情報がすべて正しいとは限らないことを前提に対応することが必要です。誤った情報、いわゆる「フェイクニュース」が世界を駆け巡ることも少なくありません。情報を発信するときに注意することは何でしょう。情報を発信する前にもう一度じっくり考えることではないでしょうか。情報をしっかり見極めることなく発信することで他人を傷つけることもあるでしょうし、誤った情報の拡散につながることもあります。ですから情報を発信する前に一度立ち止まって考えることが大切です。

情報があふれている現代社会ですが、多くの情報に自分自身が流されてしまっては毎日の生活に支障をきたしてしまう恐れがあります。正しい情報なのか判断するときや情報を発信するときは気持ちにゆとりが必要です。毎日の生活のどこかで、気持ちを落ち着かせて、リラックスする時間を短い時間でもいいですからつくりたいものです。